



森クリニック

〒089-2104 大樹町字大樹6-22

TEL 01558-6-5811

内科・循環器・心臓サウンズもりクリニック

〒080-0028 帯広市西18条南3丁目1-21

TEL 0155-58-5077

The Heart Times

血管の病気 下肢静脈瘤



教えて！
大原先生！

当法人では定期的に血管外科医・大原信介医師による診療を行っています。今回は大原医師に「下肢静脈瘤」についてインタビューしました。

大原信介先生プロフィール

和歌山県出身・四十八歳

私立灘高校卒業

93年東京大学医学部卒業

東京大学大学院医学研究科卒業

東京大学医学部付属病院

第一外科、同手術部副部長

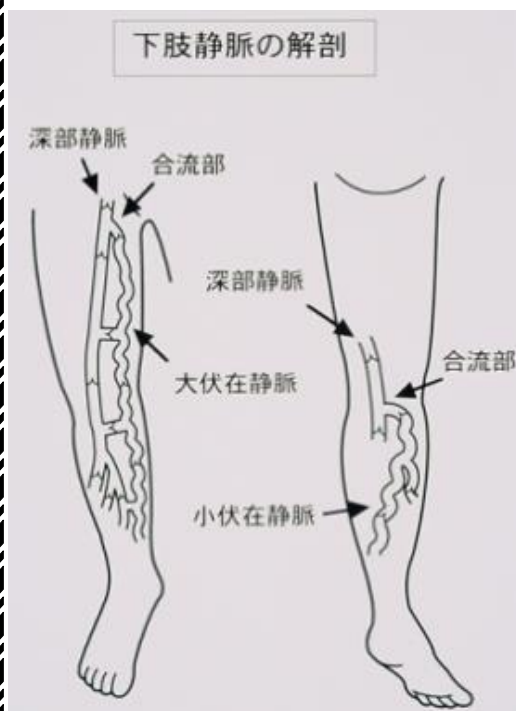
ニュージャージー州立大学血管外科留学

現在はJFEスチール株式会社本社健康管理センター長として従事しています。



Q① 下肢静脈瘤とはどんな病気ですか？
A① 足の静脈が拡張して『コブ』のようになる病です。妊娠・出産後の女性や立ち仕事の方に多く発症し、だるさ、むくみ、夜間の急な筋肉痛などの症状が現れます。放置すると皮膚に潰瘍ができ、出血することもあります。

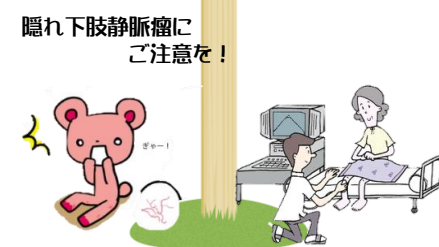
Q② なぜ起こるのですか？
A② 下の図に示すように下肢表皮を走行する大伏在静脈および小伏在静脈がコブ状に拡張します。皮下にあるこれらの静脈は筋肉によるポンプ作用がなく、静脈弁で逆流を防止しています。しかしこの弁の働きが悪くなると逆流が生じ、静脈が拡張するのです。



Q③ どんな検査をするのですか？
A③ 超音波検査を行います。検査時間はおよそ十分、立った姿勢で行います。足の内側の付け根からくるぶしまでと、膝の裏からかかとまでの血管を調べます。足の深いところを走る深部静脈に血の塊や逆流がないかどうかと同時に検査します。
Q④ 治療方法を教えてください。
A④ 根本的な治療は手術療法ですが、まず医療用の弾性ストッキングを着用します。このストッキングは下肢静脈瘤の進行を予防し、むくみやだるさが改善します。抗凝固剤、抗血小板剤を内服する必要はありません。就寝時は下肢が心臓と同じ高さになるので装着する必要はなく、日中に靴下と同じように弾性ストッキングを着用すればいいのです。

あしがき
熊本地震により被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。
また、ご協力いただいた二十万五百万の募金は先日帯広市社会福祉協議会へ届けて参りました。ありがとうございます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。
医療法人社団慈弘会 理事長 森光弘

大原先生診察日
☆帯広☆Tel0155-58-5077
6月24日(金)、25日(土)
7月8日(金)、9日(土)
9月9日(金)、10日(土)
☆大樹☆Tel01558-6-5811
8月26日(金)、27日(土)
9月23日(金)、24日(土)



静脈瘤がなくても年齢とともに静脈血流不全がおこりやすくなりますので、積極的に弾性ストッキングの着用をお勧めします。
大原先生、ありがとうございます。みなさん、下肢静脈瘤についてよくわかりましたね。下肢静脈超音波検査をご希望の方は大原先生の診察日に検査予約をお入れしますので、お気軽にお問い合わせください。保険診療三割負担で二万円程度の検査です。